



GO!

<https://www.jfaiu.gr.jp>

2025.04.02

No.26-59

EXPRESS

# 航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

## 整備士人材の確保・活用策の最終とりまとめを公表！ ～ 多くの項目で画期的な見直しが早期に実現！～

3月28日（金）、第9回航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会が開催され、2024年6月公表の「中間とりまとめ」（[NEWS EXPRESS 25-76](#)参照）を元に、その後の経過等を反映した最終とりまとめが公表されました。**多くの項目が2025年度に運用開始される予定**となっており、各社制度等へのスムーズな導入や職場への浸透に向けて、引き続き関係加盟組合と連携して対応していきます。

### 重点項目「中間とりまとめ」以降の特記事項（青字・主なもの）

1. 資格の業務範囲を広げ、整備士一人のできる仕事の範囲を拡大
2. 型式別のライセンスの共通化
3. 時間ベースの教育から能力ベースの教育へ（指定養成施設の要件関連）
  - ・実技教官1名が担当する訓練生を「12名程度」から「25名程度以下を目安」に
  - ・技能審査不合格の場合の再審査要件を「1回まで」から条件付きで「2回を限度」に
4. 最近の機体整備技術を踏まえた試験項目への刷新
5. デジタル技術を活用した整備の推進
  - ・ドローンを活用した実証実験をANA・JALECで開始（2025年1月～）
  - ・作業後の確認行為リモート化の実機検証を踏まえ、2025年上期にガイドライン策定
6. 戦略的な普及啓蒙
  - ・原体験の強化に資する幼少期からの情報接触量の増強策として短尺動画や絵本を制作
7. 自衛隊整備士の活用促進
  - ・退職前の自衛官に民間運航整備士の学科試験に関する教育を実施するスキームを構築
8. 外国人整備士の受け入れ拡大

※ [航空連合が要請](#)していた「学科試験合格後の実地試験受験を『2年以内』とする制限」については5年に延長（[NEWS EXPRESS 26-50](#)参照）



## 航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業